

事業計画（収集運搬業）

1 事業全体の概要

- (1) 一般廃棄物収集・運搬
- (2) 産業廃棄物収集・運搬
- (3) 古紙、ガラスくず、金属くずの回収・売却

2 事業の全体計画

事業者が排出する一般廃棄物及び産業廃棄物、古紙、ガラスくず、金属くずの収集運搬を行っています。

地域環境、社会情勢の変化に応え、地球環境にやさしい企業として、ISO14001の認証取得などにより限りある資源の有効活用に努めながら、自然環境との調和を目指します。

3 収集運搬事業

(1) 取り扱う廃棄物の種類

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、紙くず、木くず

(2) 予定計画運搬量

- | | |
|--------------------|----------|
| ① 廃プラスチック類 | 2,000t/年 |
| ② 廃プラスチック類（ペットボトル） | 500t/年 |
| ③ 金属くず | 600t/年 |
| ④ ガラスくず | 200t/年 |

(3) 収集運搬実績表（3ヵ年）

別紙1のとおり

(4) 取り扱う容器の種類

- ①鉄製網かご（2.25 m³、1.57 m³、0.57 m³、0.56 m³）、鉄製コンテナ（1.77 m³）、傾倒装置対応型容器（800ℓ）、金属性容器（70 ℓ）、ドラム缶（200ℓ）、フレコンバック（1.0 m³）

(5) 車両の用途

取り扱う産業廃棄物の種類、品目、形状に応じて、適切な車両を使用する。

(6) 事業体制

業務時間 午前9時から午後5時まで

休業日 日曜日、祝祭日

(7) 安全管理

- ①乗車前にアルコール検知器によるチェック
- ② 安全衛生員会での交通安全週間に絡めた事故防止の徹底

(8) 環境対策

①収集運搬業

ア 飛散、流出防止対策

- ・運搬に際し、飛散・流出防止のため、荷台を防水シートで覆い、運搬容器はロープ等で固定する。

イ 悪臭対策

- ・臭いの発生するものについては、オープンドラム缶やポリタンク容器を使用し、密閉して運搬することで、悪臭が外部に漏れることを防止する。

ウ その他

- ・個々の産業廃棄物の特性に合わせた取扱方法を運転手に周知徹底させる。
- ・車両、容器は必要に応じて洗車、清掃を行い、清潔にしておく。

②積替・保管施設

ア 粉じんの飛散

- ・分別作業はホコリが立たないように丁寧に行う。
- ・必要に応じて散水する。

イ 悪臭

- ・保管場所の清掃は毎日行う。
- ・排水構、オイルトラップを定期的に清掃する。
- ・消臭剤を常備し、適宜使用する。

ウ 騒音・振動

- ・車両から落下させての荷降ろしはしない。
- ・アイドリングストップを励行する。

エ 地下浸透

- ・施設の床面は全てコンクリートで舗装されている。

オ 害虫の発生

- ・保管場所の清掃は丁寧に行い、清掃後の汚水等は、高圧洗浄機やかっぱぎを使用し、排水構に流す。
- ・排水構、オイルトラップを定期的に清掃する。
- ・殺虫剤を常備し、適宜使用する。

カ 緊急事態への対応

- ・地震、火災、台風等を想定し、火災対応訓練や地震対応訓練等を定期的に行っている。

(9) 積替え保管施設の概要

別紙2のとおり

6 その他

(1) ISO14001 の取得

ISO14001 による継続的な取組を行い、環境関連法令の遵守、安全教育・緊急事態への対応等を計画的に実施していくことで、環境保全の維持向上に努めている。

(2) 健康経営「銀」の認定 (協会けんぽ)、足立区ワークライフバランス推進企業認定

健康経営やワークライフバランスを推進することにより、過重労働対策や生活習慣病対策を推進する。

(3) 産業廃棄物処理業 認定講習会修了者

収集運搬業 1名配置

産業廃棄物収集運搬業実績表

(対象期間：平成31年4月～令和4年3月)

株式会社 ヨシモリ

平成31年4月～令和2年3月

(t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
廃プラスチック類	210	197.8	195.9	202.7	206.6	204.3	195.2	181.8	224.3	196.9	181.8	181.8	2379.1
廃プラスチック類 (ペットボトル)	33.2	33.5	37.7	36.8	39.4	32.7	33.2	32.2	32.6	27.9	26.1	25.5	390.8
金属くず	78.7	30.6	32.7	40.7	37	72.5	52.1	45.1	47	36.1	62.5	35.5	570.5
ガラス・コンクリート・ 陶磁器屑	15.2	19.6	15.8	20.6	18.1	17	16.8	18.1	22.2	17.3	14.3	14.4	209.4

令和2年4月～令和3年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
廃プラスチック類	139.5	118.1	141.3	181.4	141.5	181.2	176.7	131	184	143.4	117.6	165.4	1821.1
廃プラスチック類 (ペットボトル)	29.6	24.1	39.6	42.8	41.7	57.2	42	48	35	44.7	24.7	47.2	466.6
金属くず	50.2	50.7	44.5	56	46.5	47	42.5	38.2	67.6	49.5	49.3	53.3	595.3
ガラス・コンクリート・ 陶磁器屑	10.5	10.1	13.3	17.9	17.2	10.5	12.3	12.1	28	19.2	19.3	12.1	192.5

令和3年4月～令和4年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
廃プラスチック類	148.9	127.5	155.2	154	157.1	154.6	164.5	164.1	217.8	148	138.5	177.4	1907.6
廃プラスチック類 (ペットボトル)	38.1	34.2	43	45.6	44.3	34.2	46.5	43.8	47.2	36.5	38.4	44.2	495.8
金属くず	69.1	51	51.9	49	40.2	13.3	31.1	46.5	58.6	50.4	40.3	19.4	550.8
ガラス・コンクリート・ 陶磁器屑	14.5	9.4	14.2	12.3	12.3	11.5	16.2	15	20.7	13.4	11.1	13.4	164

2 積替え保管施設

(1) 施設所在地：東京都足立区扇二丁目2番18号

積替え保管面積：470.62㎡

最大保管高さ：2.0m

産業廃棄物の種類	保管量	
汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）に限る。）	ポリバケツ1個	0.03 m ³
廃プラスチック類（廃ペットボトルに限る。）	フレコンバッグ40袋	40.0 m ³
廃プラスチック類、金属くず（廃ライターに限る。）	ポリバケツ1個	0.03 m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず （特定家庭用機器再商品化法対象物に限る。）	鉄製網かご1個	0.76 m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃蛍光灯（水銀使用製品産業廃棄物）に限る。）	ドラム缶1個	0.53 m ³
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉄製コンテナ6個	9.42 m ³
	鉄製コンテナ3個	5.31 m ³
	ドラム缶5個	1.00 m ³
	合計	57.08 m ³

(2) 施設所在地：東京都足立区関原一丁目14番25号

積替え保管面積：161.18㎡

最大保管高さ：3.3m

産業廃棄物の種類	保管量	
汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）に限る。）	金属製容器4個	0.24 m ³
廃油	一斗缶30個	0.54 m ³
木くず	直置き	7.91 m ³
	鉄製網かご1個	2.25 m ³
	鉄製網かご1個	0.56 m ³
廃プラスチック類、金属くず（廃ライターに限る。）	金属製容器2個	0.12 m ³
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	直置き	15.33 m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	傾倒装置対応型容器3個	2.40 m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず （特定家庭用機器再商品化法対象物に限る。）	直置き	50.85 m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず （廃OA機器に限る。）	鉄製網かご4個	2.24 m ³
	直置き	17.01 m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず （廃蛍光灯（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）に限る。）	傾倒装置対応型容器4個	12.27 m ³
	直置き	9.12 m ³
金属くず	鉄製網かご1個	2.25 m ³
	鉄製網かご8個	4.48 m ³
	鉄製網かご2個 （廃電線類に限る。）	1.12 m ³
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	ドラム缶1個	0.28 m ³
	ポリ製容器2個	0.46 m ³
	合計	129.43 m ³